

CLIPPEDIMAGE= JP407213458A

PAT-NO: JP407213458A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07213458 A

TITLE: THROWAWAY TOILET MAT

PUBN-DATE: August 15, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

UEKI, AKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KIRIBAI KAGAKU KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP06010359

APPL-DATE: February 1, 1994

INT-CL (IPC): A47K017/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To form a toilet mat to be disposable, facilitate cleaning of a toilet, and use the toilet in a clean condition at all times by forming the toilet mat of a moisture absorbing or water absorbing sheet.

CONSTITUTION: A throwaway toilet mat 1 is formed of a moisture absorbing or water absorbing sheet 3 comprising nonwoven fabric, paper, or mix or lamination of both, inside which water absorbing resin 4 comprising polymer or the like, is mixed. On a bottom surface of the sheet 3, a film 5 of synthetic resin such as polyethylene, polypropylene, polyester, nylon, etc., is applied for reinforcement of the back surface and prevention of water permeation, and an adhesive layer 6 comprising ordinary adhesive material mainly comprising rubber, etc., is formed at a proper part of a surface on the opposite side of the sheet 3 of the film 5 (or coating layer) for non-slip effect. As the

paper, which having water-soluble properties is used, for example.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1988-341014
DERWENT-WEEK: 198848
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Deodorising and moisture-absorbing mat - comprises deodorant-contg. nonwoven fabric, polyethylene sheet with fine pores and gas permeable polyvinyl alcohol sheet

PATENT-ASSIGNEE: ASK KK[ASKAN]

PRIORITY-DATA: 1987JP-0084579 (April 7, 1987)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 63252156 A	October 19, 1988	N/A	004	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP63252156A	N/A	1987JP-0084579	April 7, 1987

INT-CL (IPC): A61L009/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP63252156A

BASIC-ABSTRACT: A new deodorising and moisture absorbing mat consists of nonwoven fabric contg. a deodorant, a first sheet having fine pores of several to several tens of microns dia. put under the nonwoven fabric and a second gas-permeable sheet put under the first sheet. The first sheet is made of polyethylene and the second sheet of polyvinyl alcohol. The fine pores pref. have dia. 5-20 microns. The nonwoven fabric is made of polyester, polyethylene, polypropylene or rayon, each of them having a moisture-absorbing property and flexibility. The fabric includes an antibacterial agent.

USE/ADVANTAGE - The three-layer structure prevents musty odour of the part of a patient's body in contact with the mat. The deodorant removes ammonia odours of the diseased patients thus also preventing the bedsores. The antibacterial agent further enhances the deodorising effect.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/2

TITLE-TERMS:

DEODORISE MOIST ABSORB MAT COMPRISE DEODORISE CONTAIN NONWOVEN
FABRIC

POLYETHYLENE SHEET FINE PORE GAS PERMEABLE POLYVINYL ALCOHOL SHEET

ADDL-INDEXING-TERMS:

PVA

DERWENT-CLASS: A18 A96 D22 P34

CPI-CODES: A04-G02E3; A10-E09B2; A12-D01; A12-S05G; A12-V03C1; D09-B;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0231 0239 0248 1291 1982 2007 2304 2522 2528 2569 3250 2628 2653
2673 2674 3256 2721 2723 2726 2768 2769 2820

Multipunch Codes: 014 04- 041 046 047 050 143 144 231 244 245 252 253 300 440
443 477 481 483 502 52& 525 526 527 532 533 535 540 551 560 566 575 58& 595
643

645 664 665 688 720

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1988-150619

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1988-258563

L Number	Hits	Search Text	DB	Time stamp
-	13377	((442/59,96,123,125,171,333,394,396,399,414) or (428/40.1,41.7,42.3,47,51,52,58,77,80,317.1,317.3,332,343,354,542,8,543,905,907)).CCLS.	USPAT; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:11
-	18718	((442/59,96,123,125,171,333,394,396,399,414) or (428/40.1,41.7,42.3,47,51,52,58,77,80,317.1,317.3,332,343,354,542,8,543,905,907) or (4/251.1,251.2,254,256.1) or (132/333) or (604/317,318,322,358,359,360,365,366,367,378,384,385.01,386)).CCL	USPAT; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:13
-	31734	(pad or mat) same (absorb\$6) yug	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:14
-	204	(pad or mat) same (nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6)	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:23
-	58	((pad or mat) same (nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6)) and (((442/59,96,123,125,171,333,394,396,399,414) or (428/40.1,41.7,42.3,47,51,52,58,77,80,317.1,317.3,332,343,354,542,8,543,905,907) or (4/251.1,251.2,254,256.1) or (132/333) or (604/317,318,322,358,359,360,365,366,367,378,384,385.01,386)).CCL	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:15
-	1732279	((pad or mat) same (nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6)) and toilet or dispos\$5	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:15
-	6	((pad or mat) same (nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6)) and (urinal or toilet)	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:21
-	6	((pad or mat) same (nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6)) and ((urinal) or (toilet) or (rest near2 room))	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:22
-	7	(pad or mat) and ((nonwoven same polypropylene) same (absorb\$6) same(antibacterial or antimicrobial or microbes or antiviral or antifouling))	USPAT; US-PGPUB; EPO; JPO; DERWENT	2002/11/06 17:23

anti-viral
anti-fungal
bacterial
microbial
microbes
foully

update
inventor search

drip mat

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-252156

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)10月19日

A 61 L 9/00

C-6779-4C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 消臭・吸湿マット

⑯ 特 願 昭62-84579

⑰ 出 願 昭62(1987)4月8日

⑱ 発 明 者 早 川 春 仁 東京都狛江市岩戸南1-4-17 狛江コーポラス121号
 ⑱ 発 明 者 津 田 宏 司 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-4-9 朝日石綿浜見清風寮
 ⑱ 発 明 者 藤 井 武 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-4-9 朝日石綿浜見清風寮
 ⑲ 出 願 人 株式会社 アスク 東京都中央区銀座7丁目10番6号
 ⑳ 代 理 人 弁理士 曾我 道照 外4名

明 細 書

1. 発明の名称

消臭・吸湿マット

2. 特許請求の範囲

(1). 消臭剤を含む不織布(2)と、前記不織布(2)の下層に設けられ数ミクロンから数十ミクロンの微細孔を有する第1シート(3)と、前記第1シート(3)の下層に設けられた通気性のある第2シート(4)とを備えた構成よりなることを特徴とする消臭・吸湿マット。

(2). 前記第1シート(3)は、ポリエチレンシートよりなり、前記第2シート(4)はポリビニールアルコールシートよりなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の消臭・吸湿マット。

(3). 前記微細孔は、5～20ミクロンであることを特徴とする特許請求の範囲第1項又は第2項記載の消臭・吸湿マット。

(4). 前記不織布(2)は、吸湿及び柔軟性を有するポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン及びレーヨンの何れかからなることを特徴とす

る特許請求の範囲第1項乃至第3項の何れかに記載の消臭・吸湿マット。

(5). 前記不織布(2)には、制菌剤が含有されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項乃至第4項の何れかに記載の消臭・吸湿マット。

3. 発明の詳細な説明

a. 産業上の利用分野

本発明は、消臭・吸湿マットに関し、特に、消臭及び吸湿さらには、制菌性にも優れ、病人用として最適な構成を得るための新規な改良に関する。

b. 従来の技術

従来、用いられていたこの種の消臭・吸湿マットに用いられるシートとしては、種々の構成が提案されているが、これらの提案を大まかに分けると、活性炭を含む紙及び不織布状の紙、未処理の普通の紙に化学消臭剤を含浸させることにより、脱臭特性を持たせたもの等がある。

これらの従来例として、その代表的な構成について述べると、バルブスラリーに微細粒結晶性オルソンリン酸アンモニウムを混合し、この混合ス

ラリーを抄紙したアンモニアを吸着するシート状物質（特開昭59-95931号公報に開示）、バルブに吸着媒体として微粉活性炭を混入した吸着物質含有紙、海泡石を微細に分割した吸着媒粉末を含有した吸着物質含有紙（特開昭53-8811号公報に開示）などが提案されている。

c. 発明が解決しようとする問題点

従来の消臭・吸湿特性を有する紙は、以上のよう構成されていたため、次のような種々の問題点を有していた。

(1). まず、活性炭を含む紙は、色が黒色となり、消臭性も硫黄系化合物の吸臭性には優れているが、アンモニア系の消臭性は小さく、例えば、病人等の寝具に用いるマットに利用した場合には、消臭性が十分ではなかった。

(2). 又、前述の従来例としては開示していない有機繊維からなる不織布を用いた構成もあるが、この場合、吸水膨潤剤を含んでいるため、吸水性に優れているが、消臭性はなく、マットとして用いるには不適であった。

従って、このマットを病人用のマットとして布団の上に敷くことにより、通常時の湿気は布団側に通過し、ムレ状態の発生を防止することができる。

又、この第1シートの下層に、通気性及び吸湿性を有する第2シートを備えているため、第1シートの微細孔を通してくる湿気を吸収して布団を湿らせることがない。

さらに、病人用の寝具等に用いた場合、病人及び寝具等から発生する臭気及び湿気を効果的に除去することができ、この場合、第1シートは水を通さないため、尿等によって布団を汚すこともなく、極めて清潔に保つことができる。

f. 実施例

以下、図面と共に本発明による消臭・吸湿マットの好適な実施例について詳細に説明する。

図面において、符号1で示されるものは長方形に形成された消臭・吸湿マットであり、この消臭・吸湿マット1は、三層構造によって構成されており、上層には、化学消臭剤（図示せず）を含み、

本発明は、以上のような問題点を解決するためになされたもので、特に、アンモニア等の消臭及び吸湿性に優れたマットを得ることを目的とする。

d. 問題点を解決するための手段

本発明による消臭・吸湿マットは、消臭剤を含む不織布と、前記不織布の下層に設けられ数ミクロンから数十ミクロンの微細孔を有する第1シートと、前記第1シートの下層に設けられた通気性のある第2シートとを備えた構成である。

e. 作用

本発明による消臭・吸湿マットにおいては、不織布に含ませた化学消臭剤の作用により不快な臭気、特に、この化学消臭剤の特性を選ぶことにより、活性炭では除去できない病人特有の不快なアンモニア臭等を効果的に吸臭除去することができる。

さらに、第1シートがその全面において数ミクロン～数十ミクロンの微細孔を有しているため、水の分子は通過しないが、ガス、湿気等の気化したガス状物は通過させることができる。

ポリエチレン、ポリエステル及びレーヨン等の何れかからなる不織布2よりなり、不織布2の吸湿性と共に消臭特性を強化している。

この不織布2に設けられた前記化学消臭剤は、例えば、大日精化製の有機酸をベースとした複合物を、不織布2の製作時に粉末状で添加するか、又は、溶液タイプとして不織布2の全面に塗布するか又は含浸方法によって含ませることができる。

さらに、この不織布2は前記化学消臭剤の担持材料として優れた性質を有しているため、長期間の有効性を保持することができる。

前記不織布2の下層には、5～20ミクロンの多数の微細孔（図示せず）を有するポリエチレンシートからなる第1シート3が、局部的な接着又は熱融着の手段によって一体に設けられている。

さらに、この第1シート3の下層には、網目状のポリビニールシートからなる第2シート4が、局部的な接着又は熱融着又は縫製の手段によって一体に設けられている。

従って、前記不織布2、第1シート3及び第2

シート4からなる消臭・吸湿マット1の厚さは、3～5ミリとなり、寝具用としては、第2図に示すように、1000ミリ×1500ミリの大きさにすると最適である。

又、前記第2シート4は、第1シート3の微細孔を介してくる水蒸気を捉え、且つ、吸収することにより、消臭・吸湿マット1の下に設けられた寝具（図示せず）が湿るのを防止することができる。

本発明による消臭・吸湿マットは、以上のように構成されており、以下に、その動作について説明する。

まず、この消臭・吸湿マット1を布団（図示せず）の上に設置し、この消臭・吸湿マット1の上に病人（図示せず）を寝かせた場合、病人の臭気は、化学消臭剤によって消臭及び除去される。

又、ガス、湿気等の気化したガス状物は第1シート3を通過し、第2シート4で吸湿され、ムレが防止できると共に、布団のムレも同時に防止することができる。

第 1 表

薬品名		5分後	30分後	120分後
アンモニア	ブランク	9,000	8,300	4,900
	サンプル	2,100	125	17
トリメチルアミン	ブランク	14	11	8
	サンプル	Trace	ND	ND

第 2 表

薬品名		1日後	3日後	7日後
硫化水素	ブランク	120	80	50
	サンプル	Trace	ND	ND

Traceは痕跡

ND は検出されず

尚、試験方法については、下記の通りである。

A) アンモニア

300ml容三角フラスコに、28%アンモニア水を10μl採取して、完全にガス化させた後、サンプル50×200mm、1枚投入し、パラフィルムでシールし、25℃に保存し、所定の時間経過後北川式ガス検知器を用いて、フラスコ内のアンモニア残存濃度を測定する。

又、第1シート3は、水を通すことがないため、病人の尿等によって布団が汚されることはない。

尚、前述した第1シート3及び第2シート4の材料については、ポリエチレン及びポリビニルアルコール(PVA)を用いた場合について述べたが、これらの材料に限らず、例えば、同様の性質を有する他の材料を用いた場合も同様の作用効果を得ることができることは、述べるまでもないことである。

さらに、前記不織布2に溶液タイプの制菌剤を含有させ、この制菌剤によって悪臭を生ずる菌の繁殖を抑えるように構成することができる。

次に、本発明による消臭・吸湿マット1の消臭特性を把握するために、アンモニア、トリメチルアミン及び硫化水素に対する特性試験を下記の方法で行い、顕著な消臭効果を確認した結果は次の第1表の通りである。



B) トリメチルアミン

300ml容三角フラスコに、0.6%トリメチルアミン水溶液を10μlを採取して、完全にガス化させた後、サンプル50×200mm、1枚投入し、パラフィルムでシールし、25℃に保存し、所定の時間経過後、北川式ガス検知器を用いて、フラスコ内のトリメチルアミン残存濃度を測定する。

C) 硫化水素

300ml容三角フラスコに、800ppmの硫化ナトリウム水溶液1ml及び1規定硫酸0.1mlを入れ、硫化水素を生成させ、サンプル50×200mm、1枚吊し、パラフィルムでシールし、所定の時間経過後、北川式ガス検知器を用いて、フラスコ内の硫化水素残存濃度を測定する。

g. 発明の効果

本発明による消臭・吸湿マットは、以上のように構成されているため、次のような種々の効果を得ることができる。

(1). 三層構造のうち、最上層の化学消臭剤を

含む不織布が設けられ、その下層に微細孔を有する第1シート、この第1シートの下層に吸湿性を有する第2シートが設けられているため、病人の体との接触部分のムレ及びフツンのムレが効果的に防止される。

(2). 化学消臭剤が含まれた不織布が最上層にあるため、従来の活性炭等では除去することが不可能であった、病人特有のアンモニア系の臭気を効果的に除去することができ、病人の体のまわりを常に低温度の快適な状態に保つことができ、病人自身も快適な療養生活を送ることができる。

(3). 又、前述の効果により、長期療養の病人に起りがちな床ずれ等の弊害を効果的に予防することができる。

(4). さらに、不織布に制菌剤が含有されているため、悪臭を生ずる菌の繁殖を抑え、消臭効果を相乗させることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は、本発明による消臭・吸湿マットを示すための要部の拡大断面図及び全体の

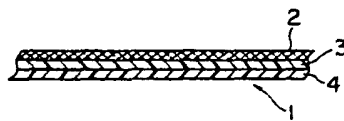
斜視図である。

1は消臭・吸湿マット、2は不織布、3は第1シート、4は第2シートである。

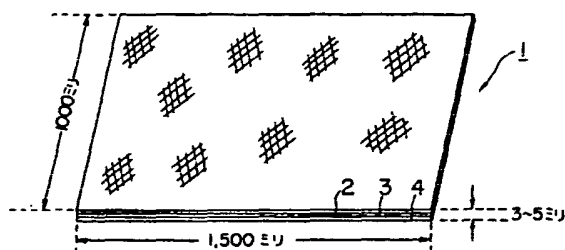
特許出願人 株式会社アスク
代理人 曾我道照



第1図



第2図



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-213458

(43) 公開日 平成7年(1995)8月15日

(51) Int.Cl.⁶
A 4 7 K 17/02

識別記号
Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-10359

(22) 出願日 平成6年(1994)2月1日

(71) 出願人 593029949

桐灰化学株式会社

大阪市淀川区新高一丁目10番5号

(72) 発明者 植木 章夫

大阪市淀川区新高一丁目10番5号 桐灰化学株式会社内

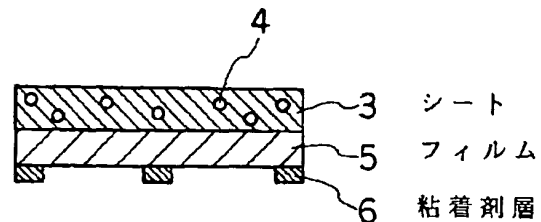
(74) 代理人 弁理士 朝日奈 宗太 (外3名)

(54) 【発明の名称】 使い捨てトイレマット

(57) 【要約】

【目的】 トイレ掃除が簡単になりトイレを常に清潔な状態で使用することができる。

【構成】 吸湿性または吸水性のシートからなることを特徴とする使い捨てトイレマット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 吸湿性または吸水性のシートからなることを特徴とする使い捨てトイレマット。

【請求項2】 前記シートが不織布、紙または両者の混合物または積層体からなる請求項1記載の使い捨てトイレマット。

【請求項3】 前記シートの片面に水透過防止用コーティング層が形成されてなる請求項1または2記載の使い捨てトイレマット。

【請求項4】 前記シートの片面に水透過防止用フィルムが貼着されてなる請求項1または2記載の使い捨てトイレマット。

【請求項5】 前記コーティング層の、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなる請求項3記載の使い捨てトイレマット。

【請求項6】 前記フィルムの、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなる請求項4記載の使い捨てトイレマット。

【請求項7】 前記不織布または紙に吸水性樹脂が混入されてなる請求項2、3、4、5または6記載の使い捨てトイレマット。

【請求項8】 前記不織布または紙に適宜の模様が描かれてなる請求項2、3、4、5、6または7記載の使い捨てトイレマット。

【請求項9】 水に溶解または分散する材料からなることを特徴とする使い捨てトイレマット。

【請求項10】 表面に適宜の模様が描かれてなる請求項9記載の使い捨てトイレマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は使い捨てトイレマットに関する。さらに詳しくは、トイレ掃除が簡単になりトイレを常に清潔な状態で使用することができるタイプの使い捨てトイレマットに関する。

【0002】

【従来の技術】トイレの床の清掃は、汚水、悪臭を伴う作業であり、不快な作業である。とくに子供やお年寄りのいる家庭はトイレがすぐ汚れるので、掃除を頻繁に行う必要があり一層大変である。

【0003】そこで、従来より、掃除の簡便化や衛生・美化を図るために床にトイレマットを敷き、床を清潔に保つことが行われている。トイレマットは、吸水性、保水性および耐久性などの観点から通常は布製のものが採用されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、布製のトイレマットは、床を清潔に保つことができるが、定期的にトイレマット自体を洗濯しなければならず、その作業が煩わしいという欠点を有する。

【0005】また、多数の利用者が頻繁にトイレを使用

したり、子供や年寄りが使用するばあいには、すぐにトイレマットが汚れるが、取替え用の布製トイレマットを用意しておかないと、洗濯が終わり、乾くまではマットなしでトイレを使用しなくてはならないし、また予備を用意する費用も高くつく。

【0006】本発明はかかる問題を解消するためになされたものであり、トイレ掃除が簡単になりトイレを常に清潔な状態で使用することができるタイプの使い捨てトイレマットを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の使い捨てマットは、吸湿性または吸水性のシートからなることを特徴とするものである。

【0008】また、前記シートが不織布、紙または両者の混合物または積層体からなるのが好ましい。

【0009】前記シートの片面に水透過防止用コーティング層が形成されてなるのが好ましい。

【0010】前記シートの片面に水透過防止用フィルムが貼着されてなるのが好ましい。

【0011】前記コーティング層の、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなるのが好ましい。

【0012】前記フィルムの、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなるのが好ましい。

【0013】前記不織布または紙に吸水性樹脂が混入されてなるのが好ましい。

【0014】前記不織布または紙に適宜の模様が描かれてなるのが好ましい。

【0015】水に溶解または分散する材料からなることを特徴とするものである。

【0016】表面に適宜の模様が描かれてなるのが好ましい。

【0017】

【作用】本発明の使い捨てトイレマットは、吸湿性または吸水性のシートからなるため、吸水性、保水性が高く、飛散された汚水などを効果的に吸収するため、トイレの床の汚れを防止することができる。

【0018】しかも繊維材料や紙パルプなどを使用して容易に加工することができるため、比較的安価にトイレマットをうることができる。したがって、トイレマットが汚れたり、破損して使用困難になったばあい、そのたびに捨てて、新しいものと交換すれば、トイレを常に清潔に保つことができる。

【0019】また、水に溶解または分散する材料からなるトイレマットは水に溶けるため、便器内に直接捨てることことができる。

【0020】

【実施例】つぎに、図面を参照しながら、本発明の使い捨てトイレマットについて詳細に説明する。図1は本発

明の使い捨てトイレマットの一実施例を示す斜視図、図2は図1の使い捨てトイレマットの断面説明図、図3は本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【0021】図1に示される使い捨てトイレマット1は、マットの前部に、便器の胴部前方にびったりとすきまなく嵌まり込むように2か所の延長部2が形成されたものである。

【0022】図1の使い捨てトイレマット1は、図2に示されるように不織布、紙または両者の混合物または積層体からなる吸湿性または吸水性シート3の内部にポリマーなどからなる吸水性樹脂4が混入され、しかも前記シート3の底面には、裏面補強および水透過防止のためにポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロンなどの合成樹脂製フィルム5が貼着されている。なお、フィルムの貼着に代えて、合成樹脂などのコーティング層を形成してもよい。

【0023】フィルム5（またはコーティング層）のシート3と反対側の表面の適宜の部分には、ゴムなどを主材とする通常の粘着性物質からなる粘着剤層6が形成されている。フィルム5は粘着剤層6を介してトイレの床に固着させるため、使用者がマットの上に載っても滑らない。この粘着剤層6の形成範囲は本発明においてとくに限定されず、マット全体であってもよいし、点状または線状に部分的であってもよい。

【0024】前記シート3は、複数の薄い不織布または紙を積層して形成されることにより、吸水性を保ちながら耐久性を1週間程度の使用に耐えうる程度まで高めることができる。

【0025】また、前述した不織布としてはポリプロピレン、ポリエステル、ポリエチレン、ナイロンまたはこれらとパルプとを混紡したものをを用いることができ、とくに吸水性およびコストの点よりパルプとの混紡を採用するのが好ましい。

【0026】また、紙は、水溶解性のあるものなどが採用される。

【0027】また、吸水性樹脂4としては、ポリアクリル酸塩やイソブチレン-無水マレイン酸共重合体などの架橋体などが採用される。

【0028】なお、シート3そのものの吸水性が高ければ、吸水性樹脂の使用を省略することも可能である。

【0029】また、前述した実施例ではマットの裏側に粘着剤層を形成しているが、この粘着剤層に代えて、シート5の吸水層3と反対側の表面の少なくとも一部に滑り止め層を形成してもよい。このばあい、たとえば水玉模様や縞模様などの種々の模様を呈するように部分的に滑り止め層を形成してもよい。

【0030】前記滑り止め層としては、たとえばつぎのものがあげられる。

【0031】(1) シート5の素材の表面に樹脂やエラストマーの溶液または分散液、あるいはプラスチック

を一樣にまたは模様状に塗布し、乾燥する。

【0032】樹脂やエラストマーとしては、たとえば軟質塩化ビニル系樹脂、天然ゴム、スチレン-ブタジエンゴム、イソプレンゴム、クロロプレンゴム、ウレタンゴムなどがあげられる。

【0033】(2) シート5の素材の表面にホットメルトタイプの樹脂材料をホットメルトコーティング法により一樣にまたは模様状に塗布する。

【0034】前記ホットメルトタイプの樹脂材料としては、たとえばエチレン-酢酸ビニル共重合体、エチレン-酢酸ビニル共重合体の加水分解物、エチレン-アクリル酸共重合体、エチレンアクリル酸エステル共重合体、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂などを主体とするホットメルト接着剤があげられる。

【0035】(3) シート5の素材の表面に熱溶解性樹脂を押出しラミネートする。

【0036】前記熱溶解性樹脂としては、タック性の良好なものが好ましく、たとえばエチレン-メチルメタクリレート共重合体（EMMA）などがあげられる。

【0037】(4) シート5の素材の表面に発泡性の樹脂組成物を一樣にまたは模様状に塗布または含浸させ、ついで発泡させて樹脂の発泡層を形成する。

【0038】(5) シート5の素材の表面に合成樹脂性フィルムをラミネートする。

【0039】前記発泡性の樹脂組成物としては水や低沸点中性液などを発泡剤とするポリウレタン樹脂組成物があげられる。またアクリル系樹脂（たとえばビニリデンクロライド-アクリロニトリル共重合体などの熱硬化性アクリル樹脂など）などの樹脂のコアに発泡剤（イソタンなどの揮発性溶剤）を含有させたカプセルをバインダー樹脂と混合したものがあげられ、この混合物を塗布して発泡させると、凹凸のある表面が形成できる。

【0040】前記において、各樹脂材料を模様状に塗布するにはグラビアコーターなどが使用できる。

【0041】また、ホットメルト接着剤や軟質塩化ビニル樹脂などのばあい、粒状のものをシート5の表面に均一に散布したのち、熱を加えて定着せしめることによって、シート5の表面に多数の突起を形成することもできる。

【0042】以上説明したような滑り止め層をシート5の表面に形成すると、使用中にトイレマットが滑って移動してしまうことがない。

【0043】さらに、使い捨てマットの表面に、適宜の模様を描き、子供向けの柄からおしゃれな大人向けの柄まで、数種類の柄を用意しておけば、使用者の好みに合わせて使い分けることもできる。

【0044】たとえば、子供向けの柄として植物、動物またはマンガのキャラクターなどを選べばよい。図3は、その一例としてウサギの顔を図案化した使い捨てトイレマット8である。

5

【0045】また、使い捨てトイレマットの他の例として、汚れるたびに便器に捨てて水に流すことができる水溶性や水分分解性のトイレマットなどが考えられる。このような水溶性または水分分解性のトイレマットは、パルプを垂直方向に並べ（絡みがない）、水に分散し易くしたシートや、パルプまたはレーヨンに水溶性のポリアル系バインダーを加えたものからなるシートなどで作製することができる。

【0046】なお、これらの水溶性や水分分解性のトイレマットも表面に適宜の模様が描かれているのが好ましい。

【0047】

【発明の効果】本発明によれば、トイレ掃除が簡単にな

6

りトイレを常に清潔な状態で使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の使い捨てトイレマットの一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1の使い捨てトイレマットの断面説明図である。

【図3】本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 使い捨てトイレマット

3 シート

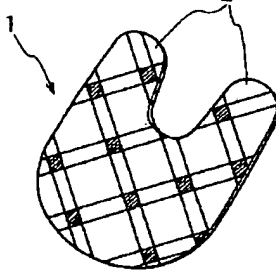
5 フィルム

6 粘着剤層

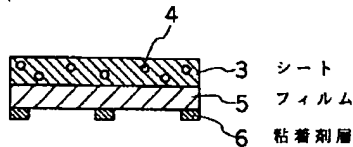
8 使い捨てトイレマット

【図1】

使い捨てトイレマット



【図2】



【図3】

使い捨てトイレマット

